opusdei.org

ローマで日本人司祭 誕生

2003年5月31日(土)、ローマで日本人を含む様々な国籍からなるオプス・デイの信者26人が叙階された。

2004/01/23

その人、木村昌平神父は、木村家の 長男として1962年3月6日、大阪に生 まれた。8歳のときにまず母が受洗 し、4年後、本人も洗礼を受けた。 叙階式には、日本から父親と二人の 兄弟が駆けつけた。さらに、本人を 驚かせ喜ばせたのは、お世話になった井上神父が茨木教会の信者を連れて7名のグループで参加したことだ。

「井上神父様と数名の信者さんが来てくださると知って、胸にぐっと来るものがありました。茨木教会は、江戸時代のキリスト教弾圧が厳しいときも、たくさんの隠れキリシタがいた素晴らしい土地です。私の召し出しは、けしてお世辞でも大げさでもなく、茨木の人々のためでもあると思います。」

木村昌平、新司祭とのインタビュー

司祭になるまでの道程で、特に心に 残っていることは何ですか?

私は、12歳で洗礼を受けました。たくさんの人の世話になりました。まず、両親です。母親は、私より4年早く洗礼を受けましたが、それは、友人の勧めがきっかけでした。その

方がよくロザリオを祈っていたのを 覚えています。なぜか、ガダルーペ の聖母に特別の信心を持っておられ ました。その方が、私に一人の神父 様を紹介してくださり、カトリック の勉強が始まったのです。

父についても忘れられないことがあ ります。いつも私の自由を尊重して くれました。信者ではないし、私の 洗礼に賛成してくれたわけではあり ませんが、母や私の洗礼を快く思っ ていない親戚の人々に対しては弁護 してくれました。ある人たちにとっ て、先祖代々の宗教を離れて洗礼を 受けるのは裏切りだと思えたので す。私の場合、長男ですから殊更で した。しかし、父はそう考える親戚 の人に対して、「そっとしておいて やってくれ。本人が受けたいという なら、どうやっても洗礼を受けるだ ろう | と、弁護してくれたのです。 とてもありがたいものでした。今も 感謝しています

カトリックの勉強で、どんな思い出 がありますか?

13歳のとき、家族は大阪の別の町に 引っ越し、そこの教会でサレジオ会 のジョゼフ・ヘリバン神父と出会い ました。ベルギー人でした。いむを 愛想よく、落ち着いた方で、私はと く助けてもらいました。また、ある も大切なことを教わりました。あ 日、一冊の本を頂き、それを読んで 『将来は先生になりたい』とはっきり考えるようになりました。また、信心生活も目指したいと思いました。その本は、ドン・ボスコの伝記でした。後に大学で英米文学を勉強しているとき、友人がオプス・デイを紹介してくれました。自分の道はこれだと分かりました。

当時を振り返り、もっとも影響を受けたのは何でしたか?

客観的に見て非常に困難な状況の日本で、一所懸命に働いている可模能ので、のののののではないます。そのではないます。があるではないます。ないまないではないがではないがである。一度ではないがである。一度ではないが何もあるの生き方は聖人ださいました。までではないました。まではないました。まではないました。まではないました。まではないました。まではないました。まではないました。まではないました。まではないました。まではないました。まではないました。

教皇様からどんな影響を受けました か?

ローマで勉強されましたが、「永遠 の都」ローマで何が心に残りました か?

教会が一番気に入りました。日本はカトリックやキリスト教の国ではありませんから、雰囲気はずいぶん違います。私は、ローマのカトリック

的な風情が大好きです。信心を強めてくれます。たとえば、一日中ご聖体を顕示している教会があります。よくそこを訪問しました。また、ローマの歴史や人々からもたくさんのことを習いました。

聖ホセマリアの列聖式に参加され、 聖人の生涯で特に印象に残った点は 何ですか?

神父になることを、家族や友人はど う受け止めていますか?

全般に好意的です。日本では、人々に奉仕する職業を高く評価する伝統があります。たとえば、学校の先生や看護婦さんなど。聖職と言われたりもします。三人の友人から手紙が届きました。二人は未信者、一人は信者ですが、皆、祝福してくれました。そして、司祭を人々のために祈る仕事だと考えています。

父親が叙階式に来てくれることが、 とても嬉しいです。期待していまけんでした。召し出しのこ人来です。 日本のもののには、 日本のがたいでするのがたいです。 日本のが大変難しいでするのが大変難しいです。 は10年前に亡くなり、 はいのは残念ですが、 になるようにいなるようにいなるようにいなるようにいなるようにいた。 もれたのになるようになるようになるようになるようになるようになる。 た。自由を尊重してくれましたが、 よく私に言っていました。「昌平、 神父になるのは、とても素晴らしい ことですよ。」

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/romaderi-ben-ren-si-ji-dan-sheng/(2025/10/29)